

- 1 日時・期限 2026年2月24日（火） 5時限
- 2 学年組・人数 1年1組 40名（男子18名 女子22名）
- 3 生徒観 運動に対して意欲的な生徒が多く、グループ内での活動や話し合いも積極的である。
- 4 教材名 「Active Sports 2025」（大修館書店）
- 5 単元名 陸上競技：短距離走
- 6 単元の目標 (1) 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。（知識・技能）  
(2) 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとする、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする、健康・安全を確保すること。（主体的に学習に取り組む態度）  
(3) 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに自己の考えたことを他者に伝えること。（思考力・判断力・表現力）
- 7 単元の学習計画 (1) 課題発見～探究  
本時の位置付け（1時間／1時間）
- 8 本時の目標 自分たちに最も適したスタート角度を見つけるために、自己や仲間の課題を発見し、自己の考えたことを他者に伝えている。（思考力・判断力・表現力）

## 9 本時の学習展開

過程	学習活動（学習内容）	生徒の活動	指導上の留意点	評価の観点・方法等
導入	1 挨拶、健康観察 2 概要説明 3 準備運動	・整列し、挨拶をする。 ・本時の大まかな内容を説明する。 ・準備運動を行う。	・体調不良に留意する。	
展開	4 本時のねらい、学習の確認 5 クラウチングスタート～運動方程式について 6 倒れ込みスタートで自分の前足、後ろ足を決める。 7 グループ内で話し合いながら、スタートの角度を探す。 8 見つけた角度でスタートできるように、グループ内で課題等伝え合う。	・本時のねらい、学習の流れを確認する。 ・クラウチングスタートと運動方程式について説明を聞く。 ・4人組をつくる。 ・前に倒れ込み、最初に出てきた足をスタート時の後ろ足とする。 ・前傾の角度を様々試し、最も力が入る角度を探す。 ・グループ内で自分が感じたこと、他者の動きを見て考えたことを伝える。	・本時のねらいと内容を説明する。 ・物理基礎の理論を自分たちのスタート動作に置き換えられるように説明する。 ・接触しないように走方向を揃える。 ・各グループを観察し、活動が活発でないグループには助言をし、きっかけづくりをする。	自分たちに最も適したスタート角度を見つけるために、自己や仲間の課題を発見し、自己の考えたことを他者に伝えている。（思考力・判断力・表現力） <u>評価方法</u> ・観察 B：自己の考えたことを他者に伝えている。 A：自己の考えたことを具体的に他者に伝えている。
まとめ	9 片付け 10 本時の振り返り、健康観察 11 挨拶	・片付けをする。 ・整列し、説明を聞く。 ・挨拶をする。	・振り返りをしながら、本時のまとめを説明する。 ・体調不良者がいないか確認をする。	

## 10 本時の評価と手だて

- (1) 自分たちに最も適したスタート角度を見つけるために、自己や仲間の課題を発見し、自己の考えたことを他者に伝えたか。（思考力・判断力・表現力）  
手だて：課題をなかなか発見できない生徒や課題を言語化できない生徒には、キーワードを投げかけきっかけづくりをする。

